

一般質問・質疑の概要

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）																		
1	質問 (一問一答)	14 大東 和美	<p>1 9価HPVワクチンの定期接種化に伴う本市の対応について</p> <table border="1" data-bbox="639 315 1497 577"> <tr> <td data-bbox="639 315 708 398">(1)</td> <td data-bbox="708 315 1497 398">積極的勧奨の再開に伴い、定期接種対象者やキャッチアップ対象者への周知は、いつどのように行いましたか。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="639 398 708 488">(2)</td> <td data-bbox="708 398 1497 488">今年度の接種数は、現時点でどのようになっていますか。前年度の接種数も併せてお示しください。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="639 488 708 577">(3)</td> <td data-bbox="708 488 1497 577">9価HPVワクチンの定期接種化に伴う本市の対応、特に対象となる方への周知方法について伺います。</td> </tr> </table> <p>2 物価高騰に対する子育て世帯支援策について</p> <table border="1" data-bbox="639 629 1497 741"> <tr> <td data-bbox="639 629 708 741">(1)</td> <td data-bbox="708 629 1497 741">物価高騰のこの時期こそ、子育て世帯への緊急支援策として、時限的でも子ども医療費の自己負担額をゼロ円としてはどうでしょうか。または、それに代わる支援策を打ち出す考えはないか伺います。</td> </tr> </table> <p>3 伴走型子育て支援について</p> <table border="1" data-bbox="639 792 1497 1487"> <tr> <td data-bbox="639 792 708 936">(1)</td> <td data-bbox="708 792 1497 936">妊婦一般健康診査の無料回数について、本市では14回に限定されています。しかし、多胎児やそれぞれの妊婦の実情によっては、その回数がそれ以上に必要な時があります。他の自治体では、すでに拡大して助成されています。本市の現状と今後の方針について伺います。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="639 936 708 1048">(2)</td> <td data-bbox="708 936 1497 1048">これまでの本市の子育て支援のサービスとして行われてきた産後安心ヘルパー派遣事業や産後ケア事業等における現状と課題について伺います。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="639 1048 708 1160">(3)</td> <td data-bbox="708 1048 1497 1160">相談支援としては、母子健康手帳の交付時と出生届時、さらには、妊娠後期における面談を国は求めています。本市の現状と課題について伺います。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="639 1160 708 1406">(4)</td> <td data-bbox="708 1160 1497 1406">経済的支援について、妊娠時5万円、出産時5万円を、現金だけでなく、産後安心ヘルパー派遣や産後ケア事業の利用に使えるサービス利用券、育児関連商品の購入やオムツの宅配、家事代行、電子クーポンや紙クーポン、あるいはチャイルドシート、また、東京都ではカタログ等、各自自治体の実情に応じた形で、これまで出産祝い金等として実施されていると伺っていますが、本市の場合は、今年度はどのように対応されるのか伺います。また、来年度以降はどのような方針で対応されるのか伺います。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="639 1406 708 1487">(5)</td> <td data-bbox="708 1406 1497 1487">妊娠されて母子健康手帳を受け取られた後に出産までに至らなかった女性に対する対応について、本市の現状を伺います。</td> </tr> </table>	(1)	積極的勧奨の再開に伴い、定期接種対象者やキャッチアップ対象者への周知は、いつどのように行いましたか。	(2)	今年度の接種数は、現時点でどのようになっていますか。前年度の接種数も併せてお示しください。	(3)	9価HPVワクチンの定期接種化に伴う本市の対応、特に対象となる方への周知方法について伺います。	(1)	物価高騰のこの時期こそ、子育て世帯への緊急支援策として、時限的でも子ども医療費の自己負担額をゼロ円としてはどうでしょうか。または、それに代わる支援策を打ち出す考えはないか伺います。	(1)	妊婦一般健康診査の無料回数について、本市では14回に限定されています。しかし、多胎児やそれぞれの妊婦の実情によっては、その回数がそれ以上に必要な時があります。他の自治体では、すでに拡大して助成されています。本市の現状と今後の方針について伺います。	(2)	これまでの本市の子育て支援のサービスとして行われてきた産後安心ヘルパー派遣事業や産後ケア事業等における現状と課題について伺います。	(3)	相談支援としては、母子健康手帳の交付時と出生届時、さらには、妊娠後期における面談を国は求めています。本市の現状と課題について伺います。	(4)	経済的支援について、妊娠時5万円、出産時5万円を、現金だけでなく、産後安心ヘルパー派遣や産後ケア事業の利用に使えるサービス利用券、育児関連商品の購入やオムツの宅配、家事代行、電子クーポンや紙クーポン、あるいはチャイルドシート、また、東京都ではカタログ等、各自自治体の実情に応じた形で、これまで出産祝い金等として実施されていると伺っていますが、本市の場合は、今年度はどのように対応されるのか伺います。また、来年度以降はどのような方針で対応されるのか伺います。	(5)	妊娠されて母子健康手帳を受け取られた後に出産までに至らなかった女性に対する対応について、本市の現状を伺います。
(1)	積極的勧奨の再開に伴い、定期接種対象者やキャッチアップ対象者への周知は、いつどのように行いましたか。																				
(2)	今年度の接種数は、現時点でどのようになっていますか。前年度の接種数も併せてお示しください。																				
(3)	9価HPVワクチンの定期接種化に伴う本市の対応、特に対象となる方への周知方法について伺います。																				
(1)	物価高騰のこの時期こそ、子育て世帯への緊急支援策として、時限的でも子ども医療費の自己負担額をゼロ円としてはどうでしょうか。または、それに代わる支援策を打ち出す考えはないか伺います。																				
(1)	妊婦一般健康診査の無料回数について、本市では14回に限定されています。しかし、多胎児やそれぞれの妊婦の実情によっては、その回数がそれ以上に必要な時があります。他の自治体では、すでに拡大して助成されています。本市の現状と今後の方針について伺います。																				
(2)	これまでの本市の子育て支援のサービスとして行われてきた産後安心ヘルパー派遣事業や産後ケア事業等における現状と課題について伺います。																				
(3)	相談支援としては、母子健康手帳の交付時と出生届時、さらには、妊娠後期における面談を国は求めています。本市の現状と課題について伺います。																				
(4)	経済的支援について、妊娠時5万円、出産時5万円を、現金だけでなく、産後安心ヘルパー派遣や産後ケア事業の利用に使えるサービス利用券、育児関連商品の購入やオムツの宅配、家事代行、電子クーポンや紙クーポン、あるいはチャイルドシート、また、東京都ではカタログ等、各自自治体の実情に応じた形で、これまで出産祝い金等として実施されていると伺っていますが、本市の場合は、今年度はどのように対応されるのか伺います。また、来年度以降はどのような方針で対応されるのか伺います。																				
(5)	妊娠されて母子健康手帳を受け取られた後に出産までに至らなかった女性に対する対応について、本市の現状を伺います。																				
2	質問 (一問一答)	7 安原 透	<p>1 本市総合防災訓練について</p> <table border="1" data-bbox="639 1541 1497 1630"> <tr> <td data-bbox="639 1541 708 1630">(1)</td> <td data-bbox="708 1541 1497 1630">総合防災訓練での5か年計画4年目の状況と成果、そして5か年計画最終年に向けた課題を伺う。</td> </tr> </table> <p>2 本市防災5か年計画要支援者対策について</p> <table border="1" data-bbox="639 1682 1497 1749"> <tr> <td data-bbox="639 1682 708 1749">(1)</td> <td data-bbox="708 1682 1497 1749">避難行動要支援者個別計画名簿作成の完成への道筋を伺う。</td> </tr> </table> <p>3 自動体外式除細動器（AED）について</p> <table border="1" data-bbox="639 1800 1497 2139"> <tr> <td data-bbox="639 1800 708 1890">(1)</td> <td data-bbox="708 1800 1497 1890">施設閉館時にAEDが使用できる施設があるのか、また、AEDを24時間使用できる施設があるか伺う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="639 1890 708 1957">(2)</td> <td data-bbox="708 1890 1497 1957">民間事業所設置AEDの詳細について伺う。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="639 1957 708 2069">(3)</td> <td data-bbox="708 1957 1497 2069">緊急時に本市ホームページ情報から最短時間でAEDにたどり着く為に設置施設名、設置場所、使用出来る時間帯、実際の活用を考え、「施設内のどこにあるのか」を表示していただきたいかがか。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="639 2069 708 2139">(4)</td> <td data-bbox="708 2069 1497 2139">市民の皆様へのAEDの貸し出し実績について伺う。市民の皆様へAEDの貸し出しについて周知し、積極的に貸出をおこなってはいかがか。</td> </tr> </table>	(1)	総合防災訓練での5か年計画4年目の状況と成果、そして5か年計画最終年に向けた課題を伺う。	(1)	避難行動要支援者個別計画名簿作成の完成への道筋を伺う。	(1)	施設閉館時にAEDが使用できる施設があるのか、また、AEDを24時間使用できる施設があるか伺う。	(2)	民間事業所設置AEDの詳細について伺う。	(3)	緊急時に本市ホームページ情報から最短時間でAEDにたどり着く為に設置施設名、設置場所、使用出来る時間帯、実際の活用を考え、「施設内のどこにあるのか」を表示していただきたいかがか。	(4)	市民の皆様へのAEDの貸し出し実績について伺う。市民の皆様へAEDの貸し出しについて周知し、積極的に貸出をおこなってはいかがか。						
(1)	総合防災訓練での5か年計画4年目の状況と成果、そして5か年計画最終年に向けた課題を伺う。																				
(1)	避難行動要支援者個別計画名簿作成の完成への道筋を伺う。																				
(1)	施設閉館時にAEDが使用できる施設があるのか、また、AEDを24時間使用できる施設があるか伺う。																				
(2)	民間事業所設置AEDの詳細について伺う。																				
(3)	緊急時に本市ホームページ情報から最短時間でAEDにたどり着く為に設置施設名、設置場所、使用出来る時間帯、実際の活用を考え、「施設内のどこにあるのか」を表示していただきたいかがか。																				
(4)	市民の皆様へのAEDの貸し出し実績について伺う。市民の皆様へAEDの貸し出しについて周知し、積極的に貸出をおこなってはいかがか。																				

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
2	質問 (一問一答)	7 安原 透	4 JR野々市駅のJRからIRいしかわ鉄道への経営引継ぎに伴う野々市駅の利用促進について
			(1) 本市の野々市駅の利用促進について、どのような方策を考えているか伺う。
			(2) JR野々市駅の本市玄関口としての役割及び今後のあり方について伺う。
3	質問 (一問一答)	5 北村 大助	1 市長の政治的信条と次期市政を担う決意について
			(1) 来年6月で市長におかれましては任期満了を迎えます。振り返ると平成19年6月、旧野々市町長に就任なされて以来、連続4期合わせて16年間、「首長」として旧町政・市政の舵取りを担われてきました。これまでの16年を回顧した時、ご自身の歩みをどのように思われているのか見解を伺います。また政治的信条や座右の銘、一貫して大切にしてきた事があるとすれば具体的に伺います。
			(2) 4期目の今任期中、重点的に取り組まれた事を改めて伺います。成果指標という観点で成し遂げた点と仕掛りの点を具体的に伺います。
			(3) 気力・体力共に十分満ち溢れているとお見受け致しますが、引き続き市政の舵取り役として取り組まれる思いがあるのか、率直に伺います。市政5期目を目指されるのであれば、次期はどのような事に取り組んでいかれるのか具体的に部局別分野（総務部・建設部・地域政策部・教育部・健康福祉部）で所見を伺います。
			2 野々市消防署について
			(1) 現在の野々市消防署が担っている役割業務や将来を鑑みますと、現在の敷地面積及び建物面積では手狭で不十分であると考えますが市長はどのように思われているのか見解を伺います。地方債の償還終期を目途に、「適正規模かつより円滑に任務が遂行出来る環境立地、所管する範囲及びその対象」という観点で今から議論していくべきと考えますが合わせて伺います。
			3 本市の住宅に関する施策について
			(1) 「簡易耐震診断事業」と「住宅耐震診断・改修工事費補助金」事業の直近3カ年の実績を伺います、合わせて事業評価を伺います。より強化した財政的支援及び普及啓発等に取り組む必要があると考えますが市長の見解を伺います。
			(2) いわゆる「主要5施策」と言われる「公営住宅施策」・「耐震化促進事業」・「空き家促進施策」・「定住促進施策」・「リフォーム促進施策」の中で、本市の特性と住民ニーズに沿った施策を見極めていただきたい。特に「住宅リフォーム促進事業」については、新たな形で幅広い世帯が対象になるような施策を検討いただきたいと考えますが、市長の見解を伺います。加えて「勤労者自己住宅資金利子補給制度」についても今の社会情勢を踏まえて見直しを検討すべきと考えますが見解を伺います。
			4 重層的支援体制整備事業について
(1) 厚生労働省が示しています「重層的支援体制整備事業」について、本市はどのように理解され受け止めているのか、まず伺います。その上で他の自治体では「重層的支援体制整備実施計画」を策定してところもありますが、来年度、取り組んでいきたい具体的な事業はあるのか市長の見解を伺います。			
5 市オフィシャルグッズについて			
(1) 本市のPRや郷土愛・愛着を深めるための有効な手段として「オフィシャルグッズ」販売は一定の効果があると考えます。本市の発展的な象徴として多様な物品類のグッズを増やしてもいいと考えますが市長の見解を伺います。市民参加型やプロの事業者から創作的なアイデアを募る遊び心を持ったコンテストやデザインコンペ等を是非企画していただきたいと考えますが合わせて見解を伺います。			

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
3	質問 (一問一答)	5 北村 大助	<p>6 堀内町交差点について</p> <p>(1) 堀内上林線と高尾郷線が交わる「堀内町交差点」は近年、車両交通量増加に伴い、「右折専用レーン」はあるものの、「右折専用信号機」が無い ため、円滑に車両が通行出来ない状況になっております。近隣には野々市明倫高校の通学をはじめ、こども園や複数の商業施設があるため 実態把握の上、「右折専用信号機設置」に向けた石川県公安委員会との調整 に取り組んでいただきたいと思いますと考えますが、市長の見解を伺います。 設置基準は十分に満たしていると考えます。</p> <p>7 (仮称) 白山総合車両所ビジターセンターについて</p> <p>(1) 白山市で建設中の令和6年春開業予定、(仮称)「白山総合車両所ビジター センター」の設置目的に「白山市・能美市・野々市市・川北町の観光振興を図る」と 明記されています。先般8月の起工式に市長はご出席されましたが、4市町 の首長同士では、具体的にどのような展開を図っていくかと話し合われている のか、市長に伺います。</p>
4	質問 (一問一答)	15 岩見 博	<p>1 学校給食費を無償に</p> <p>(1) 大久保教育長は、「学校給食法の規定より、学校の設置者と児童生徒の保護者の それぞれの分担とされている」と答弁されているが、「学校給食執務ハンドブック」 の質疑応答の結論として、「これら法令の規定は、経費の負担区分を明らかにした ものであって、設置者が保護者に代わって、学校給食費を負担することを禁止する 趣旨のものではない」としている。2018年12月6日の参議院文教科学委員会で、 日本共産党の吉良よし子参議院議員が質問で、「自治体等がその判断によって全額 補助すること、これ自体を否定するものではないということでは」との問いかけに 対し、国務大臣は「そのように理解される所である」と答弁している。さらに、 今年10月7日の参議院本会で、日本共産党の小池晃書記局長の代表質問に、 岸田首相は、「保護者が負担する学校給食費を、自治体が補助することを妨げるもの ではない」「無償化については、自治体において適切に判断すべきもの」と答弁し ている。以上のように、政府の学校給食法の解釈は一貫している。質問通告を 提出していますので、岸田首相や政府の答弁の有無は調査されると思うが、 確認します。</p> <p>(2) 岸田首相の答弁、政府答弁にもあるように、自治体の判断で学校給食費を 自治体で全額補助できる、すなわち無償化することができると理解してよろしい か。</p> <p>(3) 過去には、中学校の給食を求める市民の声を「愛情弁当論」で受け入れよう とはしませんでした。今度は学校給食法をかざして市民の要望を受け入れようと しません。岸田首相はじめ学校給食法でも給食費の無償化を否定していないわけ ですから、市のこれまでの解釈・方針を改め、無償にしませんか。私が行っている 市民アンケートに子育て世代の20代から40代の方の6割が教育費負担の軽減を 求め、55%の方が学校給食の無償化を求めています。こうした市民の声を しっかり受け止め、無償化に踏み出すよう求める。</p> <p>2 子ども医療費窓口負担ゼロに</p> <p>(1) 市民アンケートに、白山市から野々市市に転居してきた30代の方は「 子どもの医療費が無料でなくなったのが一番よくないと思う。早急に窓口負担を 無料にしてほしい」との声を寄せています。県外におられて野々市に戻ってこ られた40代の方は「子どもの医療費窓口負担ゼロでないのがもう古いと思う、 住みたいまちに選ばれてから何も進化していない。子育てしやすいと思えない」 との声を寄せています。30代会社員の方は「住みやすいまちの評判で移住しま したが、実際に住んで子育てを始めてみると、子ども医療費、保育料の負担等 で白山市やかほく市に劣っているように思えます」と声を寄せています。 アンケートを寄せていただいた20代から40代の子育て世代の6割の方が 窓口無料化を求めています。こうした市民の声、市長はどのように受け止める か。</p> <p>(2) 県の財政支援措置を受け、窓口負担を無料にするよう求める。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
4	質問 (一問一答)	15 岩見 博	<p>3 スクールバス路線の除雪について</p> <p>(1) 市民アンケートに、4年前に富山県射水市から柳町に引っ越してこられた方から「スクールバスさえ通行できない除雪体制は最悪です」という声が寄せられました。記されている要望の趣旨は、「早朝出勤者も安心して仕事に行けるようにしてほしい」と言った迅速な除雪を求める要望です。気になったのは、「スクールバスさえ通行できない」とはどういうことなのかということでご本人にお会いして話を伺ってきました。分かったことは、柳町の除雪計画路線とスクールバスの運行ルートを照合すると、住宅地のスクールバスの運行ルートは2次路線にも入っていないということ。スクールバスは朝夕毎日安全に運行しなければならないことを考えると、柳町だけではなく、すべてのスクールバス路線を1次路線に格上げして対応する必要があるのではないかと。</p>
			<p>4 つばきの郷公園の遊具まわりの砂飛散防止対策について</p> <p>(1) 私がやっている市民アンケートに、つばきの郷公園に隣接する住宅に住んでおられる方から、「遊具周りの芝生がなくなり砂が飛んで来るので窓が開けられない。人工芝部分を増やして砂がむき出しの状態をなくしてほしい。遊んでいる子供にとっても滑りやすく危険」という要望が届いています。現地を見てきました。大型遊具は人気があり、設置したかいいがあります。嬉しいことです。当然、たくさん子どもと保護者があり、大型遊具の周りを毎日芝生を踏み歩くわけですから芝はもちません。大型遊具の1帯広範囲に砂がむき出しになっている。ただちに人工芝を張る手立てを講じるべきではないかと。</p>
			<p>5 加齢性難聴者の補聴器購入費助成と、いきいき健診に聴力検診の導入を</p> <p>(1) 補聴器工業会の調査によると、日本における難聴者数は1430万人と推定されており、人口に対する比率は11.3%で世界で3番目に多いと報告されている。一方、日本の補聴器の普及率は、難聴者人口の14.4%のみとなっており、欧米諸国の普及率が30～40%であることに比べ、非常に低く、その理由として、①国からの補助体制が諸外国に比較して不十分である②それに伴い難聴治療に対する啓蒙が適切になされていなかったことが考えられるとしています。海外では補聴器購入の公的補助について、聴力レベルについての規定が無い国が多く、医師が必要と見なせば、僅かの聴力低下でも補聴器購入に補助が出るそうです。例えば、デンマーク、ノルウェー、イギリスは100%補助があり、ドイツでは購入時に約10万円の補助がある。これに対し、日本は、両側の聴力が70dBを越えた場合に片耳のみ補助となっている。人に合わせて微調整ができる補聴器は一台20万、30万円もする。これでは、収入が少ない高齢者あるいは年金生活の方々にとってはかなり大きい負担です。低所得の方々、生活保護を受けているの方々などはもう諦めてしまうことになる。この時点でも、全く耳が聞こえない、ほとんど聞こえないまま毎日を過ごされていることになるわけで、大変深刻な問題ではないかと。こうした実態をどう受け止めるか。</p>
			<p>(2) NPO法人沖縄県難聴福祉を考える会附属診療所によると、「難聴の前兆としての耳鳴は中性脂肪との関連が、メマイ・フラツキと総コレステロールとの関連は、20年以上前よりわかって来ており、10年以上通院している患者さん320名を分析したところ、41%の患者さんが、特に6ヶ月～1年に1度の検査に通って来た関心の高い患者さんの75%が、聴覚レベルも、言葉の理解力も悪化して居らず、『食事のコントロール』と『運動の励行』による動脈硬化の予防が、如何に重要か、実証されています」「高齢者難聴は、年々悪くなると従来云われて来ましたが、否定出来たのは、非常に重要なことと想っています」「そして、40歳台から始まる高齢者難聴の微候の予防が可能ですので、住民検診の中に聴力検査を組み込むべきと考えています」と報告しています。こうした研究・経験を生かし、市として、難聴問題を福祉措置と捉えるのではなく、医療と位置付け、いきいき健診に聴力検診を導入して、食事のコントロールと運動の励行の大切さも伝えていくのはどうでしょうか。そのうえで、医師が補聴器の必要性を認めた場合、購入費の一部を助成するといった、聴力検診と補聴器購入費助成を組み合わせることで「聞こえ」の悩み解消につなげることが必要ではないかと。考えを伺う。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
4	質問 (一問一答)	15 岩見 博	<p>6 消費税インボイス（適格請求書等保存方式）の市の対応について</p> <p>(1) 来年10月からインボイス制度が実施され、本市の特別会計や企業会計も消費税の申告義務が発生する。上下水道事業の土木工事を発注する際に、上下水道課が仕入れ税額を控除するためには、受注業者にインボイスを求めることになる。また、インボイスを発行できない免税業者からの事務用品や食材、サービス業務、ポスターやチラシの印刷などの物品の仕入れは、仕入税額控除ができないため、買い手となる企業会計が消費税を納税することになり、免税業者は公共事業を受注できないとか、物品の納入ができないことになる。本市の業者の中には年間売り上げ1千万円以下の免税対象の個人事業者、零細事業者もおられると思われるが、免税業者への対応を伺う。</p> <p>(2) 学校給食の食材を納入している地元農家や八百屋、肉、鮮魚、卵などの小売業者の多くは免税業者ではないかと思うのですが、免税地元農家が締め出されることになれば学校給食の地産地消がなくなる心配がある。インボイスの登録がないと締め出されることになるのか。</p> <p>(3) 高齢者の働く場として提供されているシルバー人材センターは仕事を高齢者の会員に紹介し、会員は報酬を受け取る仕組みで、インボイス制度の対象となります。こうしたことから、業務委託契約で、高齢者は個人事業主として扱われることとなります。会員個人がインボイスを発行しなければ、シルバー人材センターが消費税額控除できず、納税負担が発生することとなります。仮に、シルバー人材センターが消費税を負担できないとするならば、会員個人が課税業者になりインボイス番号を取得する必要が生じます。本市のシルバー人材センターは高齢者に課税業者になることを求めることになるのか。</p> <p>(4) シルバー人材センターは公的性格の高い組織で、市から運営費などの補助金も給付され、市が発注する業務も数多くある。センターや高齢者の負担が生じることがないようにするには、補助金の増額や発注事業の単価の引き上げが考えられますが、市の対応を伺う。</p>
5	質問 (一問一答)	4 向田 誠市	<p>1 消防分団員確保に関する件</p> <p>(1) 若い人達は家庭の事情により夫婦共働き家庭が多く、協力はしたいが子育ての事を考えると決断出来ないことが一つの要因になっているように思われます。そこで本市として、土曜日曜の休日に無料で子供さんを預けられる保育園、幼稚園を数か所確保し、費用については市からの補助金で賄い、団員確保に向け本市全町内会の問題として取り組む案件だと思えます。粟 市長のご所見をお伺いします。</p> <p>2 土地区画整理事業に関する件</p> <p>(1) 現在進められている土地区画整理事業及びこれまで区画整理事業が終了した地域にも多くのさら地が見受けられます。地権者の事情も有ろうかと思えますが、そういう地面も含めて本市として、既に制定されている「企業誘致に向けた条例」に中小企業進出が速やかに検討いただけるよう助成制度の拡充を検討しては項目を追記し、「まちづくり」に向けた取り組みを推し進めては如何でしょうか。粟 市長のご所見をお伺いします。</p> <p>3 いじめ問題に関する件</p> <p>(1) 粟 市長より答弁をいただき、数ヶ月が経過しようとしております。第三者委員会より教育委員会の方に何らかの報告、アクションが有ったのでしょうか。少しでも有ったのであればその時点で議会や市民に報告されては如何でしょうか。まだとするなら、市の方から第三者委員会に催促確認をするべきだと思います。催促確認をされたのでしょうか。されていないのであれば確認をされたら如何ですか。私は、6月定例会の粟市長の答弁に対し理解はしておりますが、時間及び日数が掛かり過ぎることで風化に繋がるとは思われませんか。粟市長のご所見を再度お伺いします。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
5	質問 (一問一答)	4 向田 誠市	<p>4 富陽小学校ビオトープに関する件</p> <p>(1) 現状、雑草が生茂り荒れはてたビオトープを手入れ復元して、富陽小学校の児童達が「生き物観察や憩いの場」とするお考えは御座いませんか。また、このビオトープは、学校行事・地区行事・地域の人達が桜の時期などその都度ビオトープ周辺でお弁当を食べ、憩いの場として利用されておられた事からは是非復活させて頂きたいと思っております。なお、維持管理等につきましては、「石川県立大学ビオトープ研究会」の学生さんや、PTA及び地域の皆さんに相談を持ち掛けて対応されては如何でしょうか。粟 市長のご所見をお伺いします。</p> <p>(2) 富陽小学校運動場とビオトープの間の南北に高さ6メートル程のネットが設置されていますが、どのような理由でネット設置をされたのでしょうか。このネットにより、休み時間等に児童達が「ビオトープに遊びに行こう。」と言う気持ちに歯止めを掛けているように思えてなりません。そう言う観点から、ネットの撤去を検討しても良いのではと思いますが。粟 市長のご所見をお伺いします。</p>
			<p>5 GIGAスクール構想関連に関する件</p> <p>(1) 本市における「GIGAスクール構想」の開始で、学習用デジタル端末による勉強が始まり、此れまでに「学習用デジタル端末の修理費」に掛かった費用が補正予算に含まれておればその金額は幾らぐらいで修理内容は何ですか。もし、修理金額が大きくなるようであれば、今後、当初予算に組み込まれては如何でしょうか。粟 市長のご所見をお伺いします。また、保護者と「学習用デジタル端末修理費用に関する取り決め」があれば提示いただければ幸いです。</p>
			<p>6 通園・通学バスに安全装置設置に関する件</p> <p>(1) 全国の各自治体で通園・通学バスに、政府が打ち出した「置き去り防止装置の義務化」に向けて補正予算で補助金を出す動きが見受けられます。国からの補助金は検討中ですが、各自治体では、国からの補助金対象車も含め、通園・通学に運行されている全ての車両に補助金をだして装置設置を図るものです。本市には「スクールバス」として大中小型合わせて16台が運行されております。「スクールバス」と「私立幼稚園」に対し本市はどのような対応をされるのでしょうか。粟 市長のご所見をお伺いします。</p>
			<p>7 本市中学校の校則・制服に関する件</p> <p>(1) 本市における2校の中学校より「校則」及び「制服」問題が生徒会で取りざたされた場合、教育委員会はどのような対応をとられるのでしょうか。私は「校則」に関しては「ある程度、時代のニーズに応じた校則に変えても良いのかな」と思っておりますが、「制服」に関しては、現在採用されている制服が「本市の中学生らしい制服」と思っております。粟 市長のご所見をお伺いします。</p>
			<p>8 公立夜間中学設置に関する件</p> <p>(1) 現在、石川県教育委員会では、「公立夜間中学設置」に向けて方向性を年度内にまとめる方針を確認されました。本市には、金沢工業大学・石川県立大学の2大学と石川県立野々市明倫高等学校及び本市の中学校2校と小学校5校が立地しています。本市のような「コンパクトシティ」の中にこれだけの学校が存在する市は稀です。中林土地区画整理事業組合の愛称も「カレッジタウン富陽」と名付け「学校」をアピールしております。そう言う観点からも、石川県教育委員会の方針に沿って「県立夜間中学誘致」に向け、県との交渉を推し進めることを要望したいと思います。粟 市長のご所見をお伺いします。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
5	質問 (一問一答)	4 向田 誠市	<p>9 住み続けたい街ランキングに関する件</p> <p>(1) 先般、某上場企業さんの「住み続けたい街ランキング2022北陸版」で本市は、かほく市に続き第2位でした。「街の幸福度ランキング2022北陸版」では、かほく市が3位に入っていますが本市は10位以内にもランクされない結果でした。幸福度ランキングで1位に入った滑川市では「充実した子育て施設の充実が最大の魅力」が要因の一つに挙げられ、20代から40代の小さいお子さんがいるご家族の転入者が多いということです。滑川市の要因から、本市でも若い人達の転入者が多いことから今後、「子育て環境の充実」「福祉の充実」を図ることが市民や転入者にとって重要な施策になるのではないのでしょうか。この二つの施策を充実させることで「真のナンバーワン」になれると私は思っております。「真のナンバーワン」を目指す時にはいろんな障害の壁があるかと思われませんが、栗 市長には努力奮闘していただき「真のナンバーワン」を目指していただきたいと強く思うものです。栗 市長の思いと決意をお話ししていただければ幸いです。</p>
6	質問 (一問一答)	2 朝倉 雅三	<p>1 富樫用水林口川の河川指定と改修整備を求める</p> <p>(1) 昨年9月議会一般質問において、富樫用水林口川は改修が終了後半世紀が経過したと指摘致しました。本年8月4日の大雨の時、太平寺・堀内と林口川の状況を確認に行きました。用水の東側はブロック1枚程度の余裕があり西側は土堤防一部まで水が上がってきており、太平寺を含めた林口川沿線において、排水が効かない内水氾濫・道路冠水状態となっております。そのとき雨は小康状態で、沿線住民の方から、「川が溢れたりしないでしょうか。」「このような、川の状況を見るのは初めてです。」等現地市民の声を聞きました。質問するに当たり、明倫高校の事務長にも話を聞いてまいりました。「当日は午前9時半ごろには溢れんばかりの水量であった。」「農林事務所へ現状を連絡した。」とのこと。明倫高校を横切る林口川は土堤防の一部を切下げ、コンクリート壁面で川の断面を広げてあります。しかしながら、溢れんばかりであることは下流域、つまり太平寺・堀内間が未整備であるため雨水がはけず、高校で滞留したと考えられます。先日新聞報道で残念なことに、堀内地内の乳業工場が撤退するとの事であり、林口川は国道157号までであります。その下流は準用河川と2級河川十人川に指定されております。工場の撤退を機会と捉え、数多くの市民が暮らす太平寺・堀内から下林の住宅街まで河川の延長を検討してはいかがでしょうか。太平寺・堀内間は西側、下林地内は東側の土の堤防を切下げ、断面を広げられれば8月4日の大雨クラスでも十分対応できるはずですが、農業用水のことですが、本市の農業用水は排水機能をも併せ持っております。この地域下林住宅街から太平寺堀内までの農地面積は多くありません。住民の皆様方の不安を解消するためにも、今から河川指定をはじめとした延伸する取組みをはじめめることを提案いたします。市長の所見を伺います。</p> <p>2 田んぼダム実証実験結果について</p> <p>(1) 昨年9月議会で提案いたしました田んぼダムについて本年4月より実証実験が始まり、9月に終了いたしました。田んぼダムの実験結果について伺います。先の質問でも述べましたが、8月4日の大雨もあり、田んぼダム対策をした田んぼとダム対策を行なわなかった田んぼと比較した結果や抑制効果について、伺います。</p> <p>(2) 協力農家への協力金もしくは資材購入協力金など検討しておりますか、伺います。</p>
7	質問 (一問一答)	1 梅野智恵子	<p>1 不登校の児童生徒へのケアサポート体制について</p> <p>(1) 野々市市の小中学校における不登校児童生徒数の推移、傾向を伺います。また、自宅に閉じこもる児童生徒の不登校が改善された事例がございましたら併せて伺います。</p> <p>(2) GIGAスクール構想により児童生徒に一人一台のタブレット端末が導入以降現在、不登校児童生徒の自宅でのオンライン授業の環境は整っているのか、実際にオンライン授業を利用している児童生徒はいるのか伺います。また、自宅でのオンライン授業は出席日数にカウントされるのか伺います。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）	
7	質問 (一問一答)	1 梅野智恵子	(3)	派遣教育相談員は実際にどのような指導を行い、現在、各学校に何名ずつ配置されているのか伺います。 また、心に重荷を背負うなど多様な児童生徒が増加傾向の中、各々のニーズに対応できる人員の加配が必要な状態であるのか伺います。
			(4)	野々市市教育センターふれあい教室では人との接触を極力避けて過ごしたいなど、個別の状況に対応できるスペース確保の環境と人員の充実を図る必要があると考えますが、本市の見解と今後の展望を伺います。
			(5)	学校に通うことができない児童生徒を受け入れられる野々市市内の公的施設は、本町4丁目にある野々市市教育センター1か所のみです。遠方の児童生徒や、天候不順、保護者の送迎ができないなど様々な事情に対応するために、希望する児童生徒に本市からのツィ・のんきー共通回数券を配布してはいかがかと思うのですが、本市の見解を伺います。
			(6)	心に重荷を抱く様々な事情で不登校、学校に行きづらいなど多様な児童生徒一人ひとりの個性に対応し、誰一人取り残さずケアサポートできるよう、本市から積極的に支援を強化していくべきと思いますが、市長の子供たちへの思いを伺います。
			2	包括的性教育と教育指針について
			(1)	本市における包括的性教育についての見解と、また児童生徒がお互いに多様性を尊重する学校生活を送るために、生命（いのち）の安全教育に加え、包括的性教育も取り入れて「性」への理解を深めていくべきと考えるが、本市の見解を伺います。
8	質問 (一問一答)	8 西本 政之	3	ジェンダーレス制服の導入について
			(1)	野々市中学校のセーラー服にスラックスが導入された経緯と評価、生徒の反応を伺います。男子はスカートを選べるのか、布水中学校でも今後導入の予定はあるのか、ジェンダーレス制服の導入と今後の展望について本市の見解を伺います。
			1	子ども医療費窓口負担について
(1)	子ども医療費助成制度を拡充し、本市においても窓口負担を無料化すべきと考えるがいかがか。			
2	教職員の時間外勤務上限規制について			
(1)	学校管理規則に明文化されている時間外勤務上限を遵守する努力をせよ。			
(2)	時間外勤務上限規制が守られていない中、業務を増やしている動きがあると聞いている。初心に戻り、思い切った業務の削減が必要と考えるがいかがか。			
(3)	今でも、月80時間を超える時間外勤務をしている職員がいる。せめて、早急に欠員となっている人員不足を解消せよ。			
3	都市計画道路、堀内一上林について			
(1)	以前から拡幅の提案をしていたが、中林土地区画整理事業に併せて行うという答弁であったと記憶している。今後の計画を伺いたい。			
9	質問 (一問一答)	13 土田 友雄	1	これからの市政について
			(1)	まちづくりを考えるに、故郷意識の醸成や、みんなが仲良く参加する市民によるまちづくりが求められる。 数々の施策の中で、特に市民協働を打ち出した粟市長を高く評価する。 粟市長は5期目に向けてどのような市政を目指しておられるのか。

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
9	質問 (一問一答)	13 土田 友雄	<p>2 交流人口について</p> <p>(1) 交流人口を大きくすることは本市の魅力と活力を大きくすることにつながるかと考える。 先般、四国に視察に行ったが、どの行政も交流人口を増やすことに力を入れていた。 食、文化、スポーツ等々イベント、催事で交流人口を大きくするべきだと考える。 山口副市長は石川県産業創出支援機構で研修されたが、その見識でぜひ号令を掛けていただきたいと思うが、考えを問う。</p>
			<p>3 2期目の教育について</p> <p>(1) 2期目の就任を果たした教育長はどのような教育を提言するのか伺う。</p>
			<p>4 歯の大切さについて</p> <p>(1) 子どもの頃からの習慣として歯や口内を清潔にすることが一生の問題として大変重要である。 歯科医を学校に招いて指導してほしいと思うが、考えを問う。</p>
			<p>5 デジタル教育について</p> <p>(1) 本格的にデジタル教育が始まる。 児童生徒より先生が戸惑っているといった話も耳にする。 準備は順調に進んでいるのか、現状を伺う。</p>
			<p>6 高齢者を元気に</p> <p>(1) まちを元気にしてくれるのは若者の活躍だが、高齢者が元気であれば、さらにまち全体が元気になる。 高齢化社会に対応した高齢者用の遊具がどんどん開発され、思いのほか効果が上がっていると報告され、普及しているとの報道があった。家族や仲間とともに遊具で遊ぶだけで移動能力が向上し、健康になり、さらに高齢者育成に結び付けばこの上もないことである。 高齢者はリモートワークより体を動かしてこそ社会に貢献できると考える。 このようなまちづくりもあると考えるが、市長の考えを問う。</p>
			<p>7 省エネ住宅について</p> <p>(1) 世界的に省エネやSDGsが叫ばれている中、断熱効果の高い省エネ住宅や電力不足を補うソーラー発電が注目を集めている。 省エネ住宅の建築促進やソーラー発電設置の義務付けに向けて準備を進めている行政もあるが、本市では今後どのように取り扱うのか、市長の考えを問う。</p>
			<p>8 農業政策について</p> <p>(1) 農業には補助金があるが、補助金の対象となるにはどうすればよいのか、農業者に寄り添って分かりやすい指針を示してほしいと考える。 農業という産業を魅力的にしていけることが農業政策だと考えるが、市長の考えを問う。</p>
			<p>9 人を育てる、人を活かす</p> <p>(1) 大きな会社や銀行には社会人としての自覚や将来の夢を描く大事な儀式である入社式があるが、中小企業、町工場、商店などにはそうした式典がないこともある。 野々市のあらゆる職業に就業する新入社員を市として歓迎し、夢を持って働いてもらう式典を行ってはどうか。異業種交流ができ、定住促進や住み心地の良いまちとして愛着を感じてもらえるのではないかと。 また年1回の研修会を企画し、時には事業紹介をはさみ人と人との交流を深めることも大切であるとする。 市には人を活かす、人を育てることに目を向けてほしいと考えるが、市長の考えを問う。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
9	質問 (一問一答)	13 土田 友雄	<p>10 地域政策について</p> <p>(1) 市が事業所の困りごとや情報の発信を行い、愛情をもって事業所回りを行えば、市は頼りになるというイメージが定着する。 市の仲介で、各事業所の連携を図ってはどうか。 各事業所の連携を市が仲介することで、うまくいけば特産品が生まれ、さらに事業所の業績が上がれば税収も上がると考えるが、市長の考えを問う。</p>
10	質問 (一問一答)	6 馬場 弘勝	<p>1 コンベンションホテル誘致による地域活性</p> <p>(1) 企業立地促進助成制度を念頭に、これまで、本市内へのホテルの進出に関する問い合わせ等の件数や内容について、開示できる範囲でお聞きします。加えて、企業として具体的な検討に至らなかった理由等について、本市としての見解をお伺いいたします。 また、企業立地促進助成制度そのものが使われなければ、制度のある意味が失われます。助成金額や要件等、制度の内容を見直すことも検討すべきではないでしょうか。お伺いいたします。</p> <p>(2) コンベンションホテル誘致の立地条件としてJR野々市駅周辺は、その可能性を大きく持つ場所のひとつであると考えます。北陸新幹線の敦賀延伸開業時には運営主体となるIRいしかわ鉄道との協議も必要になりますが、現在の駅舎、野々市北口プラザ、交遊舎を含めた駅周辺ゾーンの今後の再開発も視野に入れ、コンベンションホテル誘致に向けて、積極的に取り組みを始めるべきではないでしょうか。お伺いいたします。</p> <p>2 市営墓地公園の今後</p> <p>(1) 市営墓地公園について、現在の中林地区1箇所での敷地内で、量として許容可能なのか、今後のニーズに対応可能かどうかという判断について、市の見解をお伺いいたします。</p> <p>(2) 当初、西部中央地区の墓地公園整備対象地とされていた用地について、野々市中央公園拡張整備事業の一部として利活用していくかどうかの判断は、いつなのでしょう。お伺いいたします。 また、野々市中央公園拡張整備事業に係るサウンディング型市場調査の対面型によるヒアリング調査を実施しておりますが、このエリアのポテンシャルの高さ、期待度の高さについて、お伺いいたします。</p> <p>3 北陸鉄道石川線の存続と今後の見通し</p> <p>(1) 市民の生活、特に通勤通学での利用者や高齢者が大きな影響を受ける北陸鉄道石川線の存続の危機について、現状を捉え、本市の考え方をしっかりと明示していくことは、本市の将来を左右する極めて重要な課題であると考えます。本市は、財政面の支援を行い、事業継続を主張していくべきだと考えますがいかがでしょうか。お伺いいたします。</p> <p>(2) 石川線に関する需要調査の結果（速報値）では、運行間隔や運賃を変動させることで需要が大きく増加する可能性がある、と示されております。鉄道利用時のバス運賃を割り引くことも含めて、実証実験をするべきだと考えます。石川中央都市圏地域公共交通協議会に係わる行政の一員として、本市として、需要増加の可能性について様々な実証実験を通して模索することを提言すべきではないでしょうか。お伺いいたします。</p>